



『季節の宅配便』

近大の情熱が凝縮、近大マンゴー



湯浅農場で経営栽培されている「アーウィン種」と、日本初でマンゴーの品種登録を行った近大発マンゴーの「愛紅」。マンゴー(写真はアーウィン種)の収穫から出荷までを紹介します。



今にも落ちそうな**完熟近大マンゴー**。近大流の収穫は自然に果実が落ちる**直前まで樹で成熟**させ、甘い香いがしてきたら収穫(①、②)。収穫は農場実習中の農学部の学生さんたち。



収穫したマンゴー果実は一昼夜、25℃の貯蔵庫で追熟後、丁寧にタオルできれいにして選別・箱詰め・出荷します(③)。また、今年からは、**文芸学部・准教授の安先生のデザインシール**(④、上記左右のデザイン)をあしらった**リニューアル箱**で今年から出荷しています。(⑤)